### 診療実績(H28.4~9月分)

#### 1)総数

	H27年4月~H275	年9月	H28年4月~H28年9月		
	531 人	$\Rightarrow$	502 J		
男性	183 人	$\Rightarrow$	200 人		
女性	348 人	$\Rightarrow$	302 人	Ī	

#### 2)診断

<u> </u>			
ICD10	H27年4月~H27年9月		H28年4月~H28年9月
認知症 等	<b>112人</b> (男25·女87)	⇒	106人(男42.女64)
薬物等の中毒症 等	<b>4人</b> (男1·女3)	⇒	6人(男3·女3)
統合失調症 等	<b>72人</b> (男28·女44)	⇒	61人(男29·女32)
うつ病・躁うつ病 等	<b>193人</b> (男72·女121)	⇒	159人(男62·女97)
不安障害·神経症 等	109人(男43·女66)	⇒	133人(男45.女88)
不眠症 等	<b>2人</b> (男1·女1)	⇒	<b>2人</b> (男0·女2)
パーソナリティー障害 等	<b>4人</b> (男1·女3)	⇒	6人(男3·女3)
知的障害 等	<b>3人</b> (男1·女2)	⇒	<b>7人</b> (男7·女0)
発達障害 等	<b>4人</b> (男2·女2)	⇒	7人(男3·女4)
小児等の行動障害 等	<b>2人</b> (男1·女1)	⇒	<b>3人</b> (男1·女2)
その他	<b>26人</b> (男8·女18)	⇒	12人(男5·女7)
健康診断	<b>0人</b> (男0·女0)	⇒	0人(男0·女0)

#### 3)年齢

O/TON			
年齢層	H27年4月~H27年9月		H28年4月~H28年9月
10代	15人(男2·女13)	⇒	18人(男9·女9)
20代	62人(男26•女36)	⇒	<b>54人</b> (男23·女31)
30代	<b>77人</b> (男37·女40)	⇒	<b>69人</b> (男27·女42)
40代	66人(男29.女37)	⇒	78人(男38・女40)
50代	49人(男25.女24)	⇒	38人(男16・女22)
60代	47人(男19•女28)	⇒	53人(男25·女28)
70代	89人(男19•女70)	⇒	73人(男22・女51)
80代	91人(男21.女70)	⇒	90人(男34·女56)
90代	35人(男5·女30)	⇒	29人(男6·女23)

本年度上半期の外来新規患者診療実績です。新患総数は502人で前年同時期よりやや減少となりました。疾患別ではうつ病・躁うつ病などの感情障害の患者さまが最も多く、昨年の専門外来開設以降引き続き認知症の患者さまも多く受診される傾向が続いております。

## ■ご案内■

当院は予約制となっております。 初診の方も事前にご予約のうえご来院下さい。 診療受付時間(平日) 9:00 ~11:30 13:00 ~16:30 (土曜) 9:00 ~11:30

※土曜日は午前のみの受付で、日祝日はお休みです。

**T004-0041** 

札幌市厚別区大谷地東5丁目7-10 TEL:(011)891-3737(代) FAX:(011)891-3868

- 診療科目 精神科 心療内科 内科
- 診療予約専用TEL: (0120)489-892 http://www.ohyachi-hp.or.jp/



- 地下鉄ご利用の方は、東西線大谷地駅で下車 して5番出口より徒歩約10分です。
- 北広島、南幌、恵庭・中央長沼方面からは、 JRバス(長沼線)で大谷地バスターミナル までおいで下さい。

# 大谷地ふれおい通信



編集/大谷地病院広報委員会 発行/重仁会 大谷地病院

2016年12月 第48号

## 新さっぽろファミリアクリニック開設紹介

この度、ご縁があり、大谷地病院が新規開設する、新さっぽろファミリアクリニックに勤務させて頂くことになりました越前谷則子と申します。平成2年の大学卒業後は帯広、旭川、稚内を回り、平成7年から札幌市内の3つの単科精神科病院(石金病院、小原病院、石山病院)、総合病院外来勤務(天使病院精神科)に勤務しました。天使病院では一般精神科診療・もの忘れ外来のみならず、主に内科や整形外科・産婦人科などと連携したり、がん終末期医療のホスピス(室蘭・同法人)での診療も経験しました。

この20年間ほど、2人の子どもを育てながら働くワーキングマザーをしています。下の子どもは小学生なので、子育てはまだもう少し続きそうです。また、日頃の運動不足を解消すべく、これを機会に20年続いた車通勤をやめ、バス・地下鉄・徒歩で通っています。万歩計では1日平均数百歩から7500歩前後に増えました。まだ初めて間もないせいか、体重は据え置きですが、これから減る?のが楽しみです。

多くの精神的不調と同様、認知症は突然なるものではなく、いつの間にかなっていることに、ご本人またはご家族が気づき、ショックを受けるものだと思います。たとえ認知症になっても、その方の今まで過ごしてきた人生は十分に尊重されるべきものと思います。できる限り患者様の気持ちに寄り添い、早期発見・早期治療をこころがけ、患者様やご家族様が少しでも安心し、希望がもてるよう、お手伝いしたいと思っております。



### 越前谷 則子(えちぜんや のりこ)先生 略歴

H2 北海道大学卒業

H3 国立十勝療養所勤務

H5 市立旭川病院勤務

H6 市立稚内病院勤務

H7 石金病院勤務

H14 小原病院勤務

H17 天使病院勤務

H25 石山病院勤務

H28年10月 大谷地病院勤務

●新さっぽろファミリアクリニック開設

●先生の趣味講座:書間臣治先生

●元気カフェの紹介

●KEITOの絵本:「森のみみせんコンサート」

●介護のいろは:「スキンケア編」

●診療実績(H28.4~9月分)





最近はしばらく行っていませんが、いわゆる産業遺産や鉄道廃線、廃墟を見るのが好きです。もの ぐさのため実際に訪れることはあまりなくて、消えた××とか懐かしの○○とかをネットで探すこと が多いです。

北海道に来てまず訪ねてみようと思ったのが炭鉱遺産です。ご出身の方も多いと思いますが、夕張 や美唄、三笠に行きました。

夕張の清水沢変電所はまるでお城のような偉容を誇っていて大変感動しました。今はもう解体され たかもしれません。

美唄では広大な空間に茜色に塗装された立坑2基だけがメモリアルとして残されていました。わず か四、五十年前、ここに所狭しと建物が並び、夜も煌々と明りが灯り、何万という人の暮らしがあっ たとはとても信じられません。変わらないものは何一つない、すべて終わりがある…そんな無常の風 に吹かれていました。

いつか、芦別や赤平にも行ってみたいと思います。それまでに愛車が廃墟(廃車)にならないよう に気をつけます。









## 元気カフェ「ブラン」の紹介

平成28年11月7日の白石区役所新庁舎の開設に併せて、元気カフェ事業を開始することとなりました。 法人内で名前を募集し、元気カフェブランとして活動していくこととなりました。元気カフェは札幌市障がい 者協働事業として、障がいのある方もない方も対等な立場で、共に働ける職場を作っていくことと、障がい のある方の就労促進、社会的・経済的な自立を図ることを目的としています。当法人は市内では4番目の 元気カフェとなります。

現場のスタッフだけではなく、お客様や法人職員が一緒にお店を作っていければ、本当に価値ある取り 組みになるのではと願っています。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。 宜しくお願いします。





## 介護のいるは~スキンケア編



毎年、寒い季節になると気になるのがお肌の乾燥ですね。スキンケアの基本は、洗浄・保湿・保護 です。

洗浄には弱酸性のものを選択しましょう。中でもベビー石鹸は肌に優しいイメージですが全てが弱 酸性ではなく、新生児は汗をかきやすいので弱アルカリのものもあり、高齢者には乾燥を助長させる ため注意が必要です。

次は保湿ですが、ワセリン・ローション・クリームタイプがあり使いやすいものを選択し、一日2~3 回は塗布しましょう。また、ナイロンタオルでこするのではなく泡で洗うことが乾燥を防ぎます。 最後は保湿ですが、紫外線・摩擦・排泄物の接触の刺激から皮膚を守るケアが大切です。 以上のことから、洗浄・保湿・保護を行い、乾燥から皮膚を守り、寒い季節を乗り切りましょう。

第3病棟 北山看護師



絵と文:KEITO

山の中にある廃校になった小学校の体育館に、1台のピアノが残っていました。誰も弾かないので、もう処分 してしまおうという話がでました。住み慣れた学校を去りがたく思うピアノの声を、森の木精が聞き取って呼 びかけました。 "誰かピアノを弾いてあげてください" 木精の声に、森の仲間が楽器を持って集まりました。 ヴァイオリン、チェロ、トランペット…。ピアノの周りに集まって、見よう見まねで楽器を弾き始め、小さな コンサートが始まりました。その愉快な音と言ったら、笑いをこらえるのが一苦労…みみせんを入れる者も現 れました。"音楽って楽しいね""次はもっと上手に弾こう"こうして始まったコンサートは、『森のみみせ んコンサート』という名前で、毎年1回、廃校の体育館で開かれることになり、ピアノは処分されずにすんだの です。そして、音楽を楽しむ仲間も増えていきました。